



永沢寺 花しょうぶ園 (兵庫県)

撮影 徳田名誉院長

## 新シリーズ 『脳血管疾患』

今回より、シリーズ特集『脳血管疾患』をお送りします。  
第1回は、脳神経外科 小林 和樹 医師より、最近の脳梗塞治療についてご紹介いたします。

## 第1回 最近の脳梗塞治療

脳卒中は国内の死因第3位、また要介護原因の第1位となる重大な疾患です。

脳卒中は「突然起こる脳の病気」という意味で、一般的には「脳梗塞（脳の血管が詰まる）」、「脳出血（脳の細い動脈がもろくなり破れて出血する）」、「くも膜下出血（脳の動脈にできた瘤が破れて出血する）」の3つの病気のことをいいます。

岡山県では2017年に5,714人の方が脳卒中で急性期病院へ入院されています（岡山県脳卒中の医療連携を担う医療機関 平成29年度実績の集計より）。特に脳卒中の約70%を占める脳梗塞は、脳の血管が詰まり脳に血液が流れなくなることで、脳が損傷を受けてしまう病気です（写真1）。脳が一度傷んでしまうと元に戻すことが難しく、体の半分の運動麻痺やしびれ、言語障害などの後遺症が残り、患者さんのQOL（生活の質）が低下するだけでなく、介護が必要となるため、支える家族の生活にも大きく影響します。

このように後遺症が問題となる脳梗塞ですが、近年治療方法が飛躍的に進歩しています。

その一つは、経静脈的血栓溶解療法（t-PA 静注療法）です。脳の細胞が死んでしまう前に、詰まった血栓（血の塊）を溶かす薬剤（t-PA）を静脈注射し、脳の血管を再開通させる治療法です。早期に血流を再開できれば、症状がない、あるいはごく軽い状態となり、社会復帰も可能となります。但し、この治療法は発症から4.5時間以内に治療を開始する必要があります。したがって、発症時刻が不明の脳梗塞や睡眠中に発症した脳梗塞では、この治療法は行えませんでした。しかし、2019年3月の日本脳卒中学会による治療指針の改定により、発症時刻が不明でもMRI検査で脳梗塞の発症が4.5時間以内と推定できる場合には、t-PA 静注療法を実施できるようになり、治療の選択

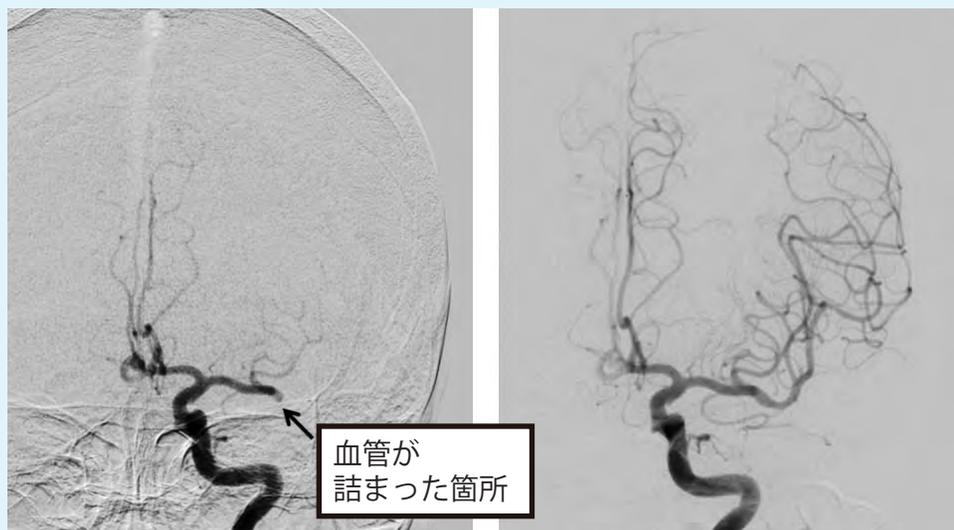


写真1 左：脳を栄養する主要な血管が詰まっている  
右：脳血栓回収術後。広い範囲で血液の流れが回復している

肢が広がりました。

二つ目は経皮的脳血栓回収術です。t-PA 静注療法ができない場合や、十分な効果が得られなかった場合に実施されるカテーテル治療で、脳の血管に詰まった血栓を絡め取ったり（写真2）、掃除機のように吸い込んだりして直接回収する治療法です。約80%で血管が再開通し、約半数の患者さんが歩いて退院できるまでに回復します。この治療法も、以前は発症から6時間までという時間制限がありましたが、脳の状態や症状の重さなど一定の条件を満たせば、発症から24時間以内の実施も可能となりました。また、脳血栓回収術に使用するカテーテルやステント（写真3）も、より高い再開通率を目指して日進月歩で開発されています。



写真2 回収した血栓

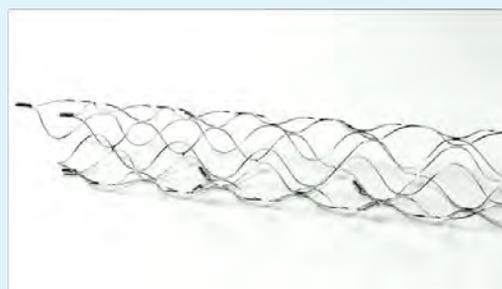
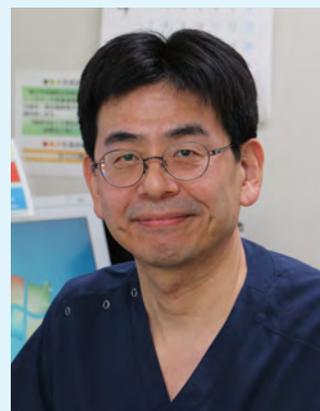


写真3 血栓回収用ステント

いずれの治療法も、以前は治療できなかった患者さんに、新たな治療の道が開けたといえます。しかし、これらの治療ができる施設は県内でも限られており、特に脳血栓回収術は、県北地域では当院でしか行えないのが現状です。当院では今秋に最新の血管撮影装置を備えたカテーテル治療室が2室稼働する予定で、さらに迅速で正確な治療が可能となります。

このように時間との闘いである脳梗塞治療ですが、岡山県北地域に位置する当院は医療圏が広く、患者さんの搬送に時間がかかるという非常に厳しい環境です。そこで私たちは、患者さんと最初に接触する救急隊からの搬送情報を元に、事前に受け入れ準備を整え、時間のロスを最小限に抑える体制作りを行っています。また、定期的に圏域の救急隊との勉強会を開催してスムーズな情報伝達の向上に努めています。

日本脳卒中学会は今年度中に、脳卒中を集約的に治療する医療機関「一次脳卒中センター」を指定する方針としています。私たちは岡山県北地域での脳卒中治療の最後の砦として「一次脳卒中センター」の役割を果たし、地域医療に貢献すべく、日夜診療に取り組んで参ります。



津山中央病院 脳神経外科 部長

小林 和樹

## 外来診療担当医の変更について

今月は津山中央病院に変更がございます。

診療担当医表については、ホームページ (<http://www.tch.or.jp>) でもご覧いただけます。

## 研究会、教室のご案内

### ■美作地区胸腹部画像診断研究会

日時／通常毎月第4金曜日 19:00～(8・12月を除く)

場所／津山中央病院 医療研修センター 2階講義室

※変更がある場合がございますので、詳細はお問合わせ下さい



### ■津山中央記念病院 糖尿病教室

日時／毎週火・水曜日 13:30～(30～60分程度)

場所／津山中央記念病院 2階会議室

### ■津山中央病院 糖尿病教室

日時／毎週月曜日 13:30～14:30

場所／津山中央病院 N館3階

ダイコーナー

### ■津山中央病院 心不全教室

日時／毎週水曜日 13:00～14:00

場所／津山中央病院 N館5階病棟 ダイコーナー

## CC セミナー (地域連携セミナー)・研修会のご案内 (7月)

当院では、地域連携セミナーとして、CCセミナーを開催しています。

地域の医療従事者の方に自由にご参加いただけます。

### ●美作医会学術講演会

『肺癌薬物療法における免疫チェックポイント阻害剤＋化学療法の位置付け』

日時：2019年7月12日(金) 19:00～20:00

講師：広島県立病院 呼吸器内科 部長 濱井 宏介 先生

場所：津山慈風会記念ホール

### ●出張CCセミナー in 美作

『前立腺癌について ～da Vinciによる手術療法と薬物療法～』

日時：2019年7月18日(木) 19:00～

講師：津山中央病院 泌尿器科 部長 弓狩 一晃 先生

場所：湯郷グランドホテル

### ●岡山糖尿病 Total Care Web Seminar 2019 (Webセミナー)

テーマ『食事療法』

日時：2019年7月25日(木) 19:00～20:45

講師：独立行政法人国立病院機構岡山医療センター 糖尿病・代謝内科 医長 肥田 和之 先生

京都大学医学部附属病院 疾患栄養治療部 副部長 幣 憲一郎 先生

東京慈恵会医科大学総合健診・予防医学センター センター長 宇都宮 一典 先生

場所：津山慈風会記念ホール

※日本糖尿病療養指導士認定更新の為の研修単位(0.5単位)、

おかやま糖尿病サポーター更新研修会Bの単位 取得予定

私たち津山慈風会は、  
地域の皆さんに  
やさしく寄り添います

津山中央病院 地域連携室  
〒708-0841 津山市川崎 1756  
TEL 0868-21-8111 FAX 0868-21-8201  
メール [tcmn@tch.or.jp](mailto:tcmn@tch.or.jp)  
HP <http://www.tch.or.jp>